

新国立劇場 2019/2020 シーズンオペラ

ロッシーニ

セビリアの理髪師

Il Barbiere di Siviglia

2020 年 2 月 6 日(木)~2 月 16 日(日)

会場:新国立劇場オペラパレス 好評発売中



2016 年公演より

誰しも応援したくなる、恋愛大作戦！ ロッシーニ最高のラブ♥コメディ

軽妙洒落なストーリー展開と軽やかな声の妙技が楽しい、ロッシーニ随一の人気作。ロッシーニ・クレッシェンドで盛り上がる序曲、「私は町の何でも屋」「今の歌声は」などおなじみのナンバーにのって、箱入り娘ロジーナと伯爵が理髪師フィガロの大活躍で結ばれる恋物語がコミカルに繰り広げられます。カラフルでポップなケップリンガー演出はユーモアいっぱい、抱腹絶倒をお約束します。

バルベラ、センペイ、ボルドーニャ、協園彩。世界が羨む最高キャストの妙技合戦に期待大！

ベルカントのスターとして欧米の一流歌劇場を席卷中のバルベラ、緻密さと活気ある表現に定評のセンペイ、喜劇役で大好評のボルドーニャと、世界のオペラハウスを賑わせているロッシーニの旬のスペシャリストが大集結。昨シーズン『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラで新国立劇場デビューを果たした協園彩は、いよいよ今期は最大の当たり役ロジーナを披露！ 絶妙なアンサンブルと魅惑のテクニック合戦は必見必聴、キャスティングが発表されるや前評判も上々、大注目公演です。

＜資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ＞

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

応援したくなること間違いなしの恋愛大作戦。ロッシーニ最高のラブ♥コメディ

軽妙洒脱なストーリー展開と軽やかな声の妙技が楽しい、ロッシーニ随一の人気作。ロッシーニ・クレツシェンドで盛り上がる有名な序曲に始まり、理髪師フィガロが早口で自慢をまくし立てる「私は町の何でも屋」、ロジーナが恋心を軽やかに歌うコロラトゥーラの人気曲「今の歌声は」など、おなじみの華やかなナンバーにのせて、箱入り娘ロジーナと伯爵がフィガロの活躍で結ばれる、痛快な恋物語が繰り広げられます。

ケツプリング演出は、1960年代後期のフランコ政権時代のスペインが舞台。60年代のポップでキッチュな空気を、800種にも及ぶ小道具が埋め尽くすカラフルな美術で表現。社会変革期の“熱い”市民の勢いを背景に設定、権力と不道德の絶妙なバランスのもと、コメディを練り上げた演出は、ユーモアいっぱいスピード。見た目もお金も大事なロジーナ、ちびっこギャング団を従えたフィガロ、娼館を営む家政婦ベルタら、したたかでちょっとずる賢くリアルな登場人物が、抱腹絶倒をお約束します。あの手この手でロジーナに近づこうと奮闘する伯爵とフィガロが何度も変装して作戦を遂行、ついに結ばれる物語は、笑いに次ぐ笑いを誘い、最後は人生の喜びをじんわり実感させます。オペラが初めての方、『セビリアの理髪師』は序曲しか聴いたことがないという方でも、文句なく楽しめること請け合いです。

バルベラ、センペイ、ボルドーニャ、脇園彩。世界が羨む最高の歌手の妙技合戦に期待大！

アルマヴィーヴァ伯爵は、アメリカ出身でベルカントのスターとして欧米の一流歌劇場を席卷中のバルベラ。フィガロには、緻密さと活気ある表現に定評のフランスのバリトン、センペイ。二人の恋路を妨害する後見人バルトロは、喜劇役で躍進中のバス、ボルドーニャ。世界のオペラハウスを賑わせている旬の歌手にして、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルの常連でもあるスペシャリストが大集結します。

イタリアを拠点にヨーロッパの主要劇場で次々と主役級を射止めている脇園彩は、いよいよ得意のロジーナを披露！ロジーナはミラノ、ボローニャ、フィレンツェ、トリエステ、そしてペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバルでも大評判を獲得した、最大の当たり役です。脇園彩が昨シーズン『ドン・ジョヴァンニ』ドン・エルヴィーラで新国立劇場デビューした際の、精緻な声楽表現と弾けるような演技に魅了されたファンも多いはず。そして既に各地で共演を重ね息の合った共演者たちとのロジーナ役出演で、更に生き活きと本領を発揮するに違いありません。

指揮に当たるのは世界の劇場から引く手あまたのアッレマンディ。難曲だけにアンサンブルがピタッとあってロッシーニ・クレツシェンドで盛り上がる瞬間は爽快そのものです。世界のロッシーニ歌手が繰り出す絶妙なアンサンブルと魅惑のテクニク合戦は必見必聴、キャスティングが発表され、出演者の活躍が知られるにつれ、前評判もうなぎ登りの大注目公演です。

<「セビリアの理髪師」あらすじ>

【第1幕】アルマヴィーヴァ伯爵はマドリッドで見かけた美女ロジーナを追ってセビリアへやって来た。ロジーナに向かって窓辺でセレナーデを歌うが反応なし。落ち込む伯爵の前に現れたのは、バルトロ家の理髪師で何でも屋のフィガロ。伯爵は彼にさっそく協力を頼む。ロジーナは、後見人バルトロの監視が厳しくて自由に動けないのだが、隙をみて伯爵への手紙を窓から落とす。それを読んだ伯爵は歌いながら、自分は貧しい学生リンドーロだと身分を隠して自己紹介する。バルトロはロジーナとの結婚を目論んでいたが、音楽教師兼結婚業ドン・バジリオから、伯爵が彼女に迫っていると聞き、すぐに結婚契約書を作成しようとする。フィガロがロジーナに、リンドーロは君に夢中だと伝えると彼女は大喜び。フィガロのアイディアで伯爵は兵士に変装し、宿泊許可証を持ってバルトロ家に入る。バルトロには寝耳に水の話で、本物の兵隊もやって来て大騒ぎのどさくさにまぎれて、伯爵とロジーナは初めて近づき、手紙を渡す。

【第2幕】伯爵はバジリオの弟子ドン・アロンソと身を偽り、体調の悪いバジリオの代わりだと言いロジーナの音楽のレッスンをする。フィガロの協力を得てバルトロをかわした隙に、伯爵は、夜中に迎えに行くとロジーナに伝える。その後アロンソが偽物だと分かり怒り心頭のバルトロは「リンドーロはおまえを伯爵に売るつもりだ」とロジーナに告げる。ショックを受けたロジーナはバルトロとの結婚を承諾してしまう。嵐ののち伯爵とフィガロがロジーナを迎えに行くが、彼女はリンドーロの裏切りを非難して、その場を動かそうとしない。そこで伯爵は自分の正体を明かす。驚き喜ぶロジーナ。バルトロが呼んだバジリオと公証人がちょうど来たので、フィガロの機転で伯爵とロジーナの結婚契約書を作成。伯爵の素性を知り驚いたバルトロはついに観念し、伯爵とロジーナはめでたく結ばれる。



<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】アントネッロ・アッレマンディ

Antonello ALLEMANDI

ミラノで生まれ、ヴェルディ音楽院で学ぶ。21歳でフィレンツェ歌劇場にデビュー。これまでに、メトロポリタン歌劇場『チェネントラ』、ウィーン国立歌劇場『セビリアの理髪師』『愛の妙薬』『清教徒』『椿姫』『イル・トロヴァトーレ』、スカラ座『アルジェのイタリア女』、パリ・オペラ座『仮面舞踏会』、英国ロイヤルオペラ『セビリアの理髪師』、パリ・オペラ座『トスカ』、チューリヒ歌劇場『リゴレット』、ベルリン・ドイツ・オペラ『アイダ』『トスカ』『イル・トロヴァトーレ』、マドリッド王立歌劇場『ドン・カルロ』、ザクセン州立歌劇場『トゥーランドット』『ラ・ボエーム』『マクベス』『アイダ』、バルセロナ・リセウ大劇場『ルチア』、ペーザロ・ロッシーニ音楽祭『新聞』『イタリアのトルコ人』などを指揮している。最近では、バイエルン州立歌劇場『イタリアのトルコ人』『セミラーミデ』、オマーン・マスカット・ロイヤル・オペラ『夢遊病の女』、ザクセン州立歌劇場『愛の妙薬』、プエノスアイレス・コロン歌劇場『アルジェのイタリア女』、ボリショイ劇場『オテロ』、サレルノ・ヴェルディ歌劇場『セビリアの理髪師』、パーム・ビーチ・オペラ『椿姫』、ハンガリー国立歌劇場『ルチア』、バーゼル歌劇場『蝶々夫人』などを指揮。新国立劇場では08/09シーズン『トゥーランドット』を指揮している。



【演出】ヨーゼフ・E. ケップリンガー

Josef E. KÖPPLINGER

オーストリア・ウィーン生まれ。アメリカで演劇を学んだ後、ウィーン音楽大学でピアノと声楽を学び、在学中から俳優・歌手として活躍する。1987年レーゲンスブルク歌劇場のミュージカルで演出家デビュー。以来、バーデン市立劇場、ベルリン・カンマーシュピーレ、ウィーン・フォルクスオーパー、グラーツ歌劇場、フロリダ州タンパ歌劇場、マンチェスター・ナショナル・シアターなどで演出を手がけた。2004年から07年までザンクト・ガレン歌劇場で演劇部門の芸術監督、07年から12年までオーストリア南部のクラゲンフルト市立劇場総監督を務めた。13年にバイエルン文化賞を受賞している。現在、ゲルトナーブラッツ州立歌劇場の総監督を務めている。新国立劇場には05年の本プロダクションが初登場となった。



【アルマヴィーヴァ伯爵】ルネ・バルベラ

René BARBERA

アメリカ出身。シカゴ・リリック・オペラ・パトリック・G. アンド・シャーリー・W. ライアン・オペラセンター修了。2011年オペリアコンクール3部門を単独で受賞。シカゴ・リリック・オペラ『ドン・パスクワレ』エルネスト、シアトル・オペラ『チェネントラ』ドン・ラミーロ、ロサンゼルス・オペラおよびモスクワ・スタニスラフスキー音楽劇場『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、サンタフェ・オペラ『湖上の美人』ロドリゴ、サンフランシスコ・オペラ『チェネントラ』ドン・ラミーロ、アルマヴィーヴァ伯爵、ロッシーニ・オペラ・フェスティバル『イタリアのトルコ人』ドン・ナルチーゾなどに次々と出演。パレルモ・マッシモ劇場で『椿姫』アルフレード役デビュー、アルマヴィーヴァ伯爵でパリ・オペラ座デビュー、『アルジェのイタリア人』リンドーロでメトロポリタン歌劇場デビューと重要な出演が続いた。17/18シーズンはベルリン・ドイツ・オペラ『ルチア』エドガルド、ミラノ・スカラ座『ドン・パスクワレ』エルネスト、ザクセン州立歌劇場『リゴレット』マントヴァ公爵、バイエルン州立歌劇場『チェネントラ』ドン・ラミーロなどに出演。18/19シーズンはウィーン国立劇場へエルネストで、ネザーランド・オペラにアルマヴィーヴァ伯爵でデビューしたほか、シャンゼリゼ劇場『マリア・ストウアルダ』レスター伯爵、ベルリン・ドイツ・オペラ『夢遊病の娘』、ローマ歌劇場『椿姫』『アンナ・ボレーナ』ペルシー卿、パレルモ・マッシモ劇場『イドメネオ』タイトルロールなどに出演した。直近の出演に、ミラノ・スカラ座『愛の妙薬』ネモリーノ、ウィーン国立歌劇場『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、今後の予定にトリノ王立歌劇場で『セビリアの理髪師』、ワロニー歌劇場『夢遊病の女』エルヴィーノがある。新国立劇場初登場。



【ロジーナ】脇園彩

WAKIZONO Aya

東京生まれ。東京藝術大学卒業、同大学院修了。在学中の2011年にマリエッラ・デヴィーアのマスタークラスに参加。13年、文化庁派遣芸術家在外研修でバルマ・ボーイト音楽院に留学。14年にはペーザロのロッシーニ・アカデミーメンバーとなり『ランスへの旅』メリベア公爵夫人に出演。14年にはミラノ・スカラ座アカデミーに参加、『子供のためのチェネントラ』アンジェリーナでスカラ座にデビューした。最近の出演にはミラノ・スカラ座アカデミー、ボローニャ歌劇場、フィレンツェ歌劇場、トリエステ・ヴェルディ劇場『セビリアの理髪師』ロジーナ、マルティナー・フランカ音楽祭でのメルカダント『フランチェスカ・ダ・リミニ』パオロ(世界初演)、カリアリ歌劇場、ロッシーニ・オペラ・フェスティバル『試金石』クラリーチェ、ヴェローナ・フィラモニコ劇場『フィガロの結婚』ケルビーノ、トリエステ・ヴェルディ劇場『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラなどがある。18年夏のロッシーニ・オペラ・フェスティバルでは『セビリアの理髪師』ロジーナに出演し話題となった。18/19シーズンはカリアリ歌劇場とバーリ・ベトルツツェリ劇場でロジーナ、パレルモ・マッシモ劇場『イドメネオ』イダマンテなどに出演した。日本では藤原歌劇団『セビリアの理髪師』ロジーナ、大阪国際フェスティバル『チェネントラ』アンジェリーナに出演している。新国立劇場に18/19シーズン『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラでデビューを飾った。



【バルトロ】パオロ・ボルドーニャ

Paolo BORDOGNA

イタリア出身。今日最高のブッフオ歌手のひとり。モーツァルト、ロッシーニ、ドニゼッティを中心にバロックから現代曲まで50を超えるレパートリーを持つ。2005年からロッシーニ・オペラ・フェスティバルの常連となり、『新聞』『結婚手形』『泥棒かささぎ』『網のはしご』『チェネントラ』『なりゆき泥棒』『セビリアの理髪師』などに出演。ミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座、ウィーン国立歌劇場、英国ロイヤルオペラ、マドリッド王立歌劇場、ワシントン・オペラなどにも登場。昨シーズンはスカラ座『泥棒かささぎ』ヴィングラディート、英国ロイヤルオペラ、リセウ大劇場『愛の妙薬』ベルコーレ、バイエルン州立歌劇場『フィガロの結婚』バルトロと『チェネントラ』ダンディーニ、ビルバオ歌劇場『ドン・パスクワレ』タイトルロール、サンクトペテルブルク・ミハイロフスキー劇場とワシントン・オペラで『セビリアの理髪師』バルトロなどに出演。18/19シーズンはルクセンブルク大劇場『セビリアの理髪師』、ダラス・オペラ、オーストラリア・オペラ『フィガロの結婚』、バイエルン州立歌劇場『コジ・ファン・トゥ』



ッテ』ドン・アルフォンソ、ハンブルク州立歌劇場、トリノ王立歌劇場『イタリアのトルコ人』、ライン・ドイツ・オペラ『ドン・パスクワレ』などに出演、19/20 シーズンはライン・ドイツ・オペラ『チェネレントラ』に出演したほか、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場、ベルリン州立歌劇場『セビリアの理髪師』、バイエルン州立歌劇場『チェネレントラ』、トリノ王立歌劇場『ドン・パスクワレ』などに出演。新国立劇場初登場。

【フィガロ】フローリアン・センペイ

Florian SEMPEY

フランス出身。高度な技巧と魅力を持ち、『セビリアの理髪師』フィガロを特に得意とするバリトン。これまでに、パリ・オペラ座、ロッシーニ・オペラ・フェスティバル、英国ロイヤルオペラ、ローマ歌劇場でフィガロ役に出演しており、昨シーズンはオランジュ音楽祭、ルクセンブルク大劇場、マルセイユ歌劇場、パリ・オペラ座、シャンゼリゼ劇場の5つの『セビリアの理髪師』フィガロに出演したほか、パリ・オペラ座ガルニエの『ドン・パスクワレ』マラテスタ、ボルドー・オペラ『ルチア』エンリーコ、英国ロイヤルオペラ『ラ・ボエーム』ショナール、『魔笛』パパゲーノに出演した。18/19シーズンはパリ・オペラ座『ユグノー教徒』『チェネレントラ』『魔笛』、ボルドー・オペラ『セビリアの理髪師』、ベルリン・ドイツ・オペラのトマ『ハムレット』、ウィーン交響楽団のベルリオーズのモノドラマ『レリオ』などに出演。今シーズンはパリ・オペラ座とバルセロナ・リセウ大劇場で『セビリアの理髪師』フィガロ、ボルドー歌劇場『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵などに出演予定。新国立劇場初登場。



【ドン・バジリオ】マルコ・スポッティ

Marco SPOTTI

パルマ生まれ。生地のボーイト音楽院修了後、パルマ王立歌劇場『仮面舞踏会』でデビュー。その後一流歌劇場への出演が続く。ミラノ・スカラ座、英国ロイヤルオペラ、シャンゼリゼ劇場、バイエルン州立歌劇場、ローマ歌劇場、フェニーチェ歌劇場、メトロポリタン歌劇場、リセウ大劇場、ジュネーヴ大劇場、パルマ王立劇場、トリノ王立劇場、ボローニャ歌劇場、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルなどで『アイダ』ランフィスとエジプト国王、『トゥーランドット』ティムール、『ギョーム・テル』ワルター、『アンナ・ボレーナ』エンリーコ8世、『ドン・カルロ』宗教裁判長、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『イル・トロヴァトーレ』フェルランドなどに出演。最近では、ボローニャ歌劇場『イル・トロヴァトーレ』フェルランド、ヴァレンシア・ソフィア王妃芸術宮殿『リゴレット』スparaフチャーレ、ベルギー王立ワロニー歌劇場『清教徒』ジョルジオ、リセウ大劇場『ルイザ・ミラー』ウルム、フェニーチェ歌劇場『ドン・カルロ』宗教裁判長などに出演。今後の予定に、ローマ歌劇場『トゥーランドット』ティムール、『ルイザ・ミラー』ウルム、ザクセン州立歌劇場『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、ハンブルク州立歌劇場『リゴレット』スparaフチャーレなどがある。新国立劇場初登場。



【ベルタ】加納悦子

KANOH Etsuko

東京藝術大学、同大学大学院を修了後、ケルン音楽大学で声楽を学ぶ。ケルン歌劇場専属歌手として『フィガロの結婚』ケルビーノ、『蝶々夫人』スズキなど40以上の演目に出演。国内ではNHK交響楽団などとの共演や、二期会、びわ湖ホールオペラなどで活躍。最近では2013年9月びわ湖ホール・神奈川県民ホール共催『ワルキューレ』フリッカを演じた。新国立劇場では『ホフマン物語』ニクラウス／ミューズ、『魔笛』侍女Ⅱ、『ばらの騎士』アンニーナ、『ルサルカ』料理人の少年、『ピーター・グライムズ』セドリー夫人、『サロメ』ヘロディアスの小姓、『セビリアの理髪師』ベルタ、『神々の黄昏』ヴェルゲンデなど多数出演している。2013年10月文化庁芸術祭オープニング公演でエルガー『海の絵』を独唱して、高い評価を得ている。ソロCD「メアリ・スチュアート女王の詩」(ALM RECORDS)は13年度レコードアカデミー賞声楽部門受賞。19/20シーズンは『ジュリオ・チェザレ』コルネリア、『サロメ』ヘロディアスの小姓にも出演予定。二期会会員。



新国立劇場 2019/2020 シーズンオペラ
 ジョアキーノ・ロッシーニ
セビリアの理髪師
 Gioachino ROSSINI / Il Barbiere di Siviglia
 全 2 幕〈イタリア語上演／日本語及び英語字幕付〉

【公演日程】2020年2月6日(木)18:30／8日(土)14:00／11日(火・祝)14:00／14日(金)14:00／16日(日)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:24,200円・A:19,800円・B:13,200円・C:7,700円・D:4,400円・Z:1,650円

【前売開始】2019年10月19日(土)

指揮アントネッロ・アッレマンディ
 Conductor Antonello ALLEMANDI
 演出ヨーゼフ・E.ケップリンガー
 Production Josef E. KÖPPLINGER
 美術・衣裳ハイドルン・シュメルツァー
 Set and Costume Design Heidrun SCHMELZER
 照明八木麻紀
 Lighting Design YAGI Maki
 再演出澤田康子
 Revival Director SAWADA Yasuko
 舞台監督斉藤美穂
 Stage Manager SAITO Miho

アルマヴィーヴァ伯爵ルネ・バルベラ
 Il Conte d'Almaviva René BARBERA
 ロジーナ協園 彩
 Rosina WAKIZONO Aya
 バルトロパオロ・ボルドーニャ
 Bartolo Paolo BORDOGNA
 フィガロフローリアン・センペイ
 Figaro Florian SEMPEY
 ドン・バジリオマルコ・スポッティ
 Don Basilio Marco SPOTTI
 ベルタ加納悦子
 Berta KANO Etsuko
 フィオレツロ吉川健一
 Fiorello YOSHIKAWA Kenichi
 隊長木幡雅志
 Un Ufficiale KOHATA Masashi
 アンブロジージオ古川和彦
 Ambrogio FURUKAWA Kazuhiko

合唱指揮富平恭平
 Chorus Master TOMIHIRA Kyohei
 合唱新国立劇場合唱団
 Chorus New National Theatre Chorus
 管弦楽東京交響楽団
 Orchestra Tokyo Symphony Orchestra

芸術監督大野和士
 Artistic Director ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/ilbarbieredisiviglia/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* Z席 1,620円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。*未就学児入場不可。

新国立劇場 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp> 東京都渋谷区本町1-1-1 京王新線新宿駅より1駅、初台駅直結。

本公演は、レパトリー演目です。宣材として過去の上演の舞台写真をご使用いただけます。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【10】



【11】